



平成23年度これからの展示と催し物のご案内



県指定の遠賀川系土器

今から45年前、初めて調査のメスが入られた平沢同明（どうめい）遺跡。神奈川県指定の弥生土器を始めとして、東日本ではめずらしい縄文時代から弥生時代へ移り変わる時期の遺物を多量に出土する遺跡として注目されています。今回の展示では、平成17年に行われた玉川文化財研究所による発掘調査の成果を中心として、この遺跡をご紹介します。ご来館をお待ちしております。

秋の特別展

秦野の原像 ～平沢同明遺跡～

期 間 平成23年10月15日(土)

～11月27日(日)

場 所 桜土手古墳展示館ミュージアムプロムナード



人面付香炉形土器

ミュージアムさくら塾のお知らせ 皆さんの参加をお待ちしています！！

2時限目～4時限目の予定 今年も専門家をお招きして講演会を開催しています。

場 所 桜土手古墳展示館 時 間 10:00～正午

定 員 70名 申込み等は広報はだのをご覧ください。(題名はすべて仮題)

<第2時限目> 10月15日(土) 講師 日本考古学協会会員 安藤文一氏

「波多野氏と河村氏 山北町河村城跡の調査から」

河村城を築いたといわれる河村秀高は、藤原秀郷の流れをくむ波多野氏と関係が深い人物です。河村城跡の調査から見えてくる河村城や秦野周辺の城郭についてお話をして頂きます。

<第3時限目> 11月12日(土) 講師 玉川文化財研究所所長 戸田哲也氏

「平沢同明遺跡の調査から見えてきたもの」

秋期特別展に合わせ、平成17年の発掘調査を担当された先生にお話をして頂きます。

<第4時限目> 1月予定 調整中 講師 國學院大學教授 小川直之氏

「大山信仰について」

大山への信仰は古くからあり、近世には古代からの祖霊の宿る山という信仰の他に豊作、豊漁や厄除けなど様々な方面に利益があるとされ信仰されていました。また、秦野市内にも大山参詣のための大山道がいく筋か通過していました。秦野とも密接に関係する「大山信仰」についてお話をして頂きます。

ミュージアム青空レクチャー

展示館の「外」の文化財や歴史を学んでみませんか。今年度の青空レクチャーは、11月頃に行なう予定です。

* 詳細は広報はだのをご覧ください。

指定文化財特別公開

11月第1週の「文化財保護強調週間」にあわせ、市内にある指定文化財の特別公開を行います。

公 開 日 11月3日(木)～6日(日)

公開場所 宝蓮寺、龍法寺、極楽寺、太岳院

* 詳細は広報はだのをご覧ください。

秦野の原始・古代の遺跡巡り 縄文時代編

1万6千年前に土を捏ね焼いた器「土器」の発明によって、煮炊きができるようになり、あく抜きや殺菌の効果を食品にもたらし、これまで食べられなかったものを衛生的に食べられるようになりました。土器の発明をもって「先土器時代」から「縄文時代」の画期とされています。縄文時代は「草創期」「早期」「前期」「中期」「後期」「晩期」の6つに分けられています。

当時の気候は約1万2千年前から徐々に暖かくなり、一時気温が低下しますが、8千年前ごろから再び気温が上昇し海面が上昇しました。この海面の上昇は「縄文海進」と呼ばれ6千年前の前期にピークをむかえました。秦野市域までは海面は上昇しませんでした。平塚市の金目周辺まで海面が上昇していたようです。その後は、徐々に気温が低下し、現在とほぼ同じ気温と海面になりました。



太岳院遺跡出土の縄文時代中期の土器

秦野の縄文時代の遺跡は100遺跡以上確認されています。発掘調査がおこなわれた遺跡から縄文時代の秦野の様子をみてみましょう。

草創期の遺跡は、山台遺跡や太岳院遺跡など数遺跡確認されていますが、土器は伴わず尖頭器と呼ばれる槍の先が出土しています。豊かな自然が広がる秦野は良い狩場だったのかもしれませんが。早期、前期では、当時の村だったと思われる集落遺跡は少なく、秦野盆地にはあまり人が住んでいなかったようです。中期になると遺跡数が多くなり、上大槻の東開戸遺跡や今泉の今泉遺跡群などで、当時の村が確認されています。東開戸遺跡では、土坑からヒスイ製の大珠(装身具)が出土しています。後期になると石をたくさん使った遺構が多くみられるようになります。お墓を石で囲んだ配石墓が太岳院遺跡や寺山遺跡で多数確認されています。その他にも柄鏡形の竪穴建物跡の床面に平らな

石を敷いた敷石住居と呼ばれる建物跡も確認されています。このような石を多く利用する文化は、中部甲信地方に多くみられます。現在、秦野は湘南地域に属しますが、海の文化というよりも山の文化の影響が強い地域だと考えられます。

後期中頃以降、神奈川県域では遺跡数が減少し、晩期では遺跡数は極少数のみしか確認されていません。秦野には、この時期の著名な遺跡として「平沢遺跡」が知られています。平沢遺跡は、縄文時代の終りから弥生時代の初頭の遺物が豊富に出土しています。神奈川県域の縄文時代から弥生時代への移り変わりを明らかにする上で学術的に価値がある遺跡です。

約2800年前に九州北部に大陸から伝わった、水稻耕作とその文化によって、狩猟採集社会は水稻耕作社会へと変化をもたらした。その変化の波は、九州から遠いこの秦野にもやってきたのでした。

(弥生時代編へ続く・・・)

<桜土手古墳展示館へのアクセス>

小田急線秦野駅北口より徒歩20分

バス秦12 秦野行「古墳公園前」下車 徒歩2分

秦08 「桜土手」下車 徒歩10分

小田急線秦野駅北口よりバス秦12 秦野行「古墳公園前」下車 徒歩2分

秦08 「桜土手」下車 徒歩10分

入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜日休館) 駐車場有

桜土手古墳展示館だより .40号

発行日 平成23年9月25日 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX0463-87-5794

URL <http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakusyu/bunkazai>

